

令和8年第4回市議会定例会

提出予定議案概要等

令和8年8月27日

- 熊本地震発生から1カ月 -
- 私立高等学校との災害協定 -

令和8年熊本地震の被災地支援状況

- ▶ 発災翌日から、小松市の備蓄品を被災地へ配送
 - ・ 熊本県八代市及び氷川町に飲料水、ブルーシート、簡易トイレ、おむつなどを支援
- ▶ 小松市職員による人的支援
 - ・ DMAT隊員として熊本県宇城市及び宇土市へ4名派遣



支援物資積み込み（市内防災備蓄倉庫）



DMAT隊員

今後、避難所運営や罹災証明書受付などの
支援のため、熊本県宇城市に2名派遣予定

- | | | |
|---|--|---|
| ▶ 指定避難所 | ▶ 収容人員 | ▶ 主な受入れ対象 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 大谷アリーナ ・ 武道場 ・ 講堂 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 640人(3.5㎡/人)
※スフィア基準 ・ 1,121人(2.0㎡/人) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 木場校下 ・ 栗津校下 ・ 矢田野校下 |



学校法人 北陸大谷学園 小松大谷高等学校

小松大谷高等学校との災害協定



小松市
KOMATSU CITY

指定避難所としての
施設使用に関する協定



学校法人 北陸大谷学園
小松大谷高等学校

締結日：令和8年8月3日



施設の概要

- ・ 全館空調設備（冷暖房）完備
- ・ 洪水、土砂災害、地震など全災害に対応
- ・ 状況により、避難スペースの拡張が可能
- ・ 校舎内に備蓄倉庫を確保
- ・ デジタルキーボックス設置
- ・ 校舎内の災害用自動販売機による飲料水の提供



防災体制強化のため、

引き続き、民間事業者等との災害協定を推進

避難所の空調整備

●指定避難所の環境改善のため、学校体育館の空調設備を整備

・小松市立高等学校 第1・2体育館



小松市立高等学校 体育館

R8
実施設計

R9
着工

R10
完了

・小中学校：稚松小、矢田野小、松陽中を皮切りに



各学校規模や使用状況、配置最適化計画に合わせて
整備プランを作成



①避難者の生命・健康を守る



②長期避難に耐えうる
避難環境を確保する



③災害対応拠点としての
機能を維持・強化する

- 小中高等学校体育館冷暖房整備 -
- 梯川水系緊急治水対策プロジェクト -

梯川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗

●九竜橋川排水機場 （令和6年10月完成）

- ・4号洪水ポンプ増設：7.53→11.56m³/s（能力：約1.5倍）
- ・排水能力の向上により市街地の浸水被害の軽減



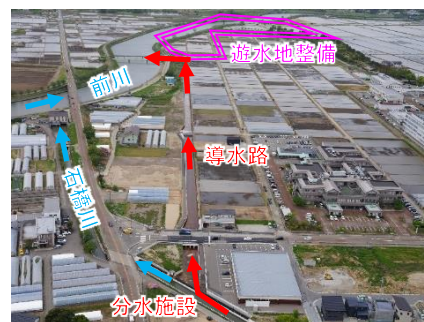
排水路拡幅



ポンプ増設

●石橋川排水区

- ・導水路整備 全長L=660mの内、現在559m完成（85%）
- ・遊水地整備 R8年度着手～R11年度完成予定
- ・雨水貯留機能確保による浸水被害軽減



遊水地・導水路



分水施設（越流堰）

9月補正の予算額について

	補正予算額 (開会日分)	補正予算額	累 計
一般会計	6億3,200万円	3億8,308万円	588億3,030万円
全 会 計	6億3,200万円	4億9,870万円	1,169億5,962万円



2040年ビジョン実現へ
小松を明るく、にぎやかに！

速いは近い、つながる小松

世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

- ・ 駅周辺公共施設維持管理費 (ス) 1,000万円
小松駅高架下公共施設等の一体的な管理運営に向けた施設整備
- ・ まちなか賑わい推進費 (ス) 300万円
まちなかのエリアマネジメントのため、地域おこし協力隊制度を活用



誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

- ・ 生活応援プレミアム付商品券発行費 (ス) 6億3,200万円
物価高対策としてプレミアム率50%の商品券（第2弾）を発行
- ・ 公的介護施設等整備費 833万円
国の補助事業を活用し、高齢者介護施設の改修等へ助成



子どもたちの輝く未来創造都市こまつ

- ・ 学びの多様化学校整備費 550万円
2028年度開校をめざす「学びの多様化学校」の実施設設計費（現大谷幼稚園施設を改修）
- ・ プレコンセプションケア推進費 (ス) 100万円
女性の健康管理アプリ「ルナルナ」の無償提供を契機とした
プレ妊活健診の対象拡大
- ・ 子ども・子育て応援基金積立金 4,039万円
匿名故人の方から遺贈によるご寄附をいただいたことから、
子育て支援のため基金に積立



ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

- ・ 都市公園ストック再編費 (ス) 1,150万円
ストック再編に係る補助事業を活用するため、
芦城公園の再整備計画策定・樹木調査の実施



小松市プレミアム付商品券

いい街こまつプレミアム ²⁰²⁶

第2弾！
12月～1月 実施予定

▶ 年末年始に物価高の影響を受ける市民生活を下支え

▶ 消費喚起による地元経済の活性化

事業概要

■ 商品券 ① **3,000円分/冊**（1,000円券×3枚）、② **15,000円分/冊**（1,000円券×15枚）

■ 販売価格 ① **2,000円/冊**、② **10,000円/冊**

● プレミアム率50%

● 選べる2種類

紙券として
買い物等で利用



■ 販売方法 市内全世帯に購入引換券(ハガキ)発送 ▶ 販売窓口各所で購入
(1世帯上限10,000円分まで購入可能)



■ 取扱店 市内に本店がある飲食店や小売店、宿泊施設 など
(小松商工会議所の会員であれば登録可能)

電子換金
で効率化
〔持参換金も
選択可〕

➡ 大手のスーパー・量販店・ドラッグストアなど

『授かりたい』を優しくサポート 小松市が始める新しい妊活環境

小松市 いしかわプレ妊活健診

- ❖ 夫婦の健康状態の確認
- ❖ 妊娠・出産に特化した医学的リスク把握
- ❖ 対象
 - ・夫婦のどちらか一方が
小松市在住
 - ・妻の年齢が30歳～40歳未満で
婚姻年月日から **2年以内**

3万円相当の健診費無料

令和8年10月3日～令和10年6月30日

小松市独自で **4年以内** に拡大



目標
受診**150組**

『ルナルナ』 プレミアムコース

- ❖ 妊娠可能性の高い
タイミング予測
- ❖ 専門医によるQ&A
妊活、不妊、生理、からだの
仕組み
- ❖ 石川県と(株)エムティーアイ
女性の健康管理支援に
関する連携協定
R8.7.6～R10.6.30 **無償提供**

○いしかわプレ妊活健診

	婚姻届 (組)	受診者 (組)	受診率 (%)	県受診者 (組)
R4	398	33	8.3	369
R7	389	73	18.8	564

条例予算 小松駅高架下公共施設等の 一体的な管理運営について

予算額：300万円

(まちなか賑わい推進費)

条例改正の背景

- 小松駅高架下・周辺には、**多様な公共施設・公共空間が集積**
 - ・ 観光交流センター「Komatsu 九」・ 820ステーション
 - ・ 市民交流プラザ ・ 市民公園など
- 課題
 - ・ 管理主体や開館時間、利用ルールが施設ごとに異なる
 - ・ 情報発信や施設相互の連携が十分とはいえない



- 小松駅高架下・周辺を一つのエリアとして捉え、**管理運営主体を一元化**します。
- 利用者の**利便性向上**、施設間の**回遊性強化**、エリアマネジメントによる**賑わい創出**を図ります。

条例改正の内容



- **Komatsu九と820ステーションの統合**
 - ・ 観光交流センター条例を改正し両施設を統合
 - ・ 「820ステーション」を「**まちあいスペース**」に改称
 - ・ 開館時間を**午前7時から午後10時までに統一**
- **市民交流プラザと市民公園の一体的な管理運営**
 - ・ 市民交流プラザ条例・都市公園条例を改正
 - ・ 屋内外を連動させた企画
 - ・ **利用相談・受付のワンストップ化**
 - ・ 「ラジオスタジオ」を「**コミュニティスタジオ**」に改称
動画制作・配信など幅広く活用
 - ・ 「健康交流施設」は**団体等による専用利用中心とした運営**へ転換し利用拡大を図る

管理運営体制

- (株)こまつ賑わいセンターによる**指定管理の一元化を予定**
- ・ **都市再生推進法人**によるエリアマネジメントの推進
- **地域活動コーディネーター配置による推進体制の強化(予算額300万円)**
- ・ 地域おこし協力隊を募集。**商店街や地域と連携**し、回遊性と賑わい向上を目指す

今後の予定

- 令和8年12月議会
指定管理者の指定に係る議案上程
- 令和9年4月～ 一体的な管理運営開始

- 小松駅周辺の夜間の安全・衛生管理を強化し、**安心・安全なまちづくりを推進**します。



主な整備内容

- 駅西広場や歩道、スケートボード場周辺などの照明灯をLEDに更新したり、防犯カメラを増設することで暗がりや死角の軽減による**夜間の安全管理を強化**
- 「Komatsu九」に併設される小松駅南トイレの出入り口にドアを設置
ドア設置後のトイレ利用時間は、「komatsu九」と統一した午前7時～午後10時とし、**防犯・衛生対策を強化**



予算 都市公園ストック再編整備

～ 未来型図書館等複合施設を中心に芦城公園エリアの魅力アップ～

予算額：1,150万円

● 芦城公園再整備計画 未来型図書館等複合施設にあわせ 芦城公園をリニューアル



- ✓ 広場計画立案（博物館、教育センター跡）
- ✓ 園路、トイレ、照明 等の見直し
- ✓ 整備に向けて地下埋設の調査（電気、水道等）



整備スケジュール



● 樹木調査 芦城公園の 樹木約1200本について成育状況等の調査を実施

〈調査目的〉

- ✓ 良好な成育環境保全のため間伐
- ✓ 危険木の判定
- ✓ 樹木台帳の更新
- ✓ 園路工事のための資料作成
- ✓ 桜（ソメイヨシノ）の若返り計画策定（段階的な整備）



市 政 「小松加賀自治体病院協議会」 設置に関する協定



国民健康保険 小松市民病院
Komatsu Municipal Hospital



加賀市医療センター
Kaga Medical Center

協定の目的・内容

南加賀医療圏の地域医療を守り、
効率的で市民に必要な医療提供体制を確保

協議会を設置



4者で連携・協力し、医療圏における
2病院の機能連携や経営のあり方等を協議



令和8年8月25日(火) 協定締結式

協議会での検討項目

- 2病院間における医療提供体制等の課題に関すること
- 病院経営のあり方に関すること
- 将来にわたる地域医療の安定確保に関すること
- 医療職等の確保及び人事交流に関すること



市 政 小松運動公園周辺スポーツ施設の整備・運営

小松運動公園 末広テニスコート 拡張整備

大規模大会の誘致や中学校運動部活動地域展開の推進に向け、遊休施設の機能転換により、利用者の利便性を向上

【整備内容】

- ・屋外相撲場を廃止
- ・テニスコート2面を増設
- ・駐車場の拡張(50→100台)
- ・東屋の整備(屋内相撲場改修)



【スケジュール】

- R8 測量・設計
- R9 工事着手
- R10 供用開始(予定)

小松運動公園 末広陸上競技場 災害復旧, 公認継続

令和6年能登半島地震による損傷の復旧工事と第3種公認継続に必要な対応を進め、早期供用開始を目指す

【事業内容】

- ・トラック陥没・観覧席等の復旧
- ・計時・計測ケーブル改修工事
- ・公認に必要な備品調達

【スケジュール】

- R7.12~R8.10 災害復旧工事
- R8.6~R8.10 ケーブル改修工事
- R8.10 備品納品
- R8.11 公認検定(予定)
- R8.12 供用開始(予定)



小松運動公園 末広野球場の管理運営

令和7年度のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、施設機能を最大限に活かすため、令和9年度より管理運営体制を見直し(現在の指定管理者:(公財)小松市まちづくり市民財団)

【方針】

- ・(株)石川ミリオンスターズを指定管理候補者として選定
- ※12月議会に指定議案を提出予定
- ・野球に関する専門性やネットワークを活かした運営
- ・集客力のあるイベントや野球教室などを実施



小松市 武道館の管理運営

令和8年度より、三幸(株)が指定管理(公募)スポーツ、健康づくりを始めるきっかけとなる各教室を展開

【各教室(自主事業)】

- ・ヨガ教室
- ・エアロビクス教室
- ・ボディメイキング教室
- ・ZUMBA
- ・脳活体操教室



市政 スタートアップ・大学と連携した新産業の構築

システムデザインマネジメント

GHAdvancers(株) × 慶應義塾大学大学院SDM研究科 × 小松市

新産業創出及び高度人材育成に関する協定

※9月14日 締結予定

GHA

GHA社:
「スタートアップビジネス
プランコンテストいしかわ
2024」最優秀起業家賞
受賞
地球上の環境・食料課題
の解決及び宇宙空間での
技術活用も期待される

慶應
SDM

慶應SDM:
地方での協働と人材
育成に実績があり、
本市のスタートアップ
政策への支援にも
協力

小松市

- ▶ 新技術を活用した宇宙分野等の産業クラスター形成
- ▶ スタートアップ支援
- ▶ 高度人材育成プログラムの実施
- ▶ 共同研究、共同事業

産学官の知見を融合し、
ディープテック企業・大学・市の連携で、
本市に新しい産業を構築

()内:対前年増減額

一般会計

翌年度繰越財源
4.0億円

実質収支
8.2億円

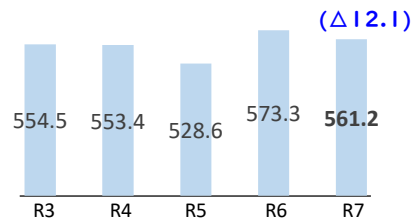
歳入

561.2
億円
(△12.1)

歳出

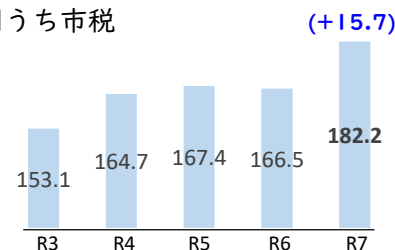
549.0
億円
(△14.0)

歳入



・建設事業や企業立地助成の減による市債、
その他（繰入金）の減

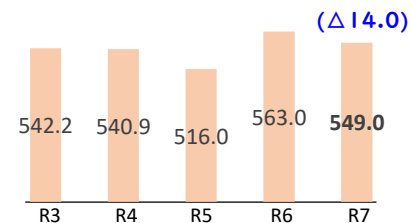
■うち市税



・定額減税（R6影響額 4.9億円）の終了
・所得向上による個人市民税の増、及び
新幹線開業に伴う固定資産税の増

単位
(億円)

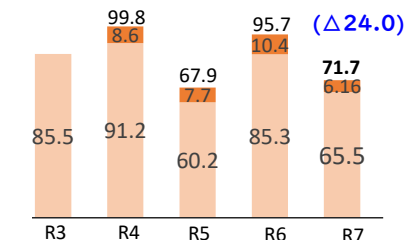
歳出



・人件費・物価上昇による一般行政費の増
・上記分を上回る投資的経費の減

■うち投資的経費

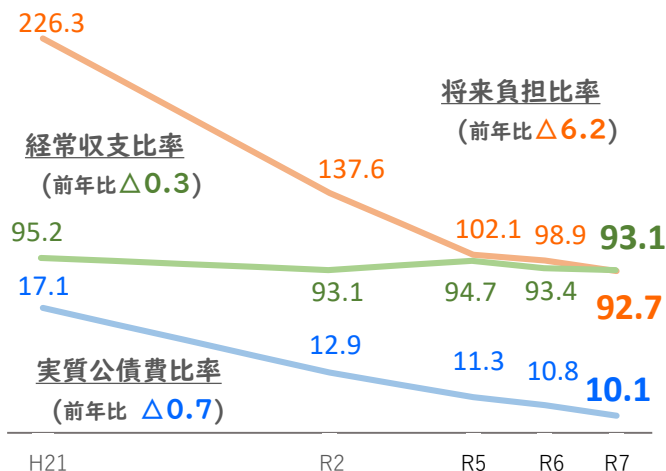
[上段: 災害復旧事業]
[下段: 普通建設事業]



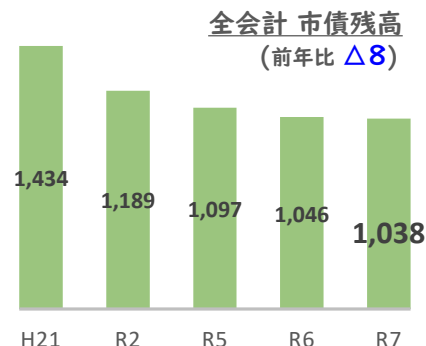
・企業立地助成や能登半島地震災害復旧
費、建設費の減

単位
(億円)

健全化判断比率等



市債残高



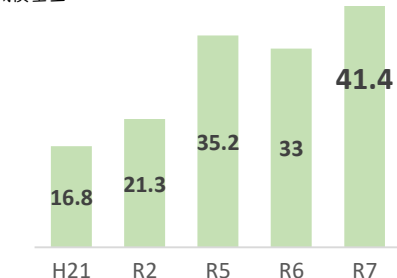
・発行額減少、減債基金を活用した繰上償還等による減

単位
(億円)

基金の確保

[主要3基金]
財政調整基金
地域経済活性化対策基金
減債基金

基金残高
(前年比 +8.4)



・財政調整基金 4.5億円積立
・地域経済活性化対策基金 3.9億円積立

単位
(億円)

市 政 自動運転バス 縁石との接触事故調査結果

発生日時 令和8年8月18日（火）10時18分

場所 小松駅西口広場（小松駅西口バスロータリー入口付近）

状況・被害

- ・自動運転レベル2で営業運行中、バスロータリー入口に進入後、**車両左側面下部が道路脇の縁石と接触**
- ・乗客11人及び運転士に怪我はなかった
- ・接触した縁石及び車両に擦り傷が生じた

事故原因

安全性を重視する自動運転システムの認知・判断による車両の動き（左操舵）に対し、運転士は危険な動作と判断し手動介入を行ったが、とっさの操作であったため適切な操作に至らず、結果として縁石に接触した。

- 小松駅前交差点を左折進入後、前方駐車場内の人物の動きに対しシステムは、**自車走行経路上への飛び出しにつながる動作として検知**（システムとしては正常な動作）

（人間ドライバーであれば飛び出すと考えない程度の挙動 システムは安全を優先）

➡ システムは「**減速・停止**」と自車位置修正のための「**左操舵**」を実行

- 運転士は、急に左操舵が行われたため、**縁石への接触につながる危険な動作**と判断

➡ **手動介入の操作**を実施

- ・ **接触を避けるためのハンドル操作**：舵角不足、手動介入モード切替に必要な力を加えるに至らず
- ・ **アクセル操作の後、ブレーキ操作**：手動介入モードに切り替わったが**ブレーキに遅れ**

（不安を感じた場合は手動介入が原則であり、**運転士の手動介入の判断は適切**であった）

- 手動介入が無ければ、**自動運転システムにより安全に停止**していたと推察される
また、手動介入時に**適切にブレーキ操作が行われていれば安全に停止**していたと推察される



歩行者の
飛び出し検知



自動運転
バス